



- 社名(商号)： 株式会社東北銀行
- 本社所在地： 岩手県盛岡市内丸3番1号
- 事業エリア： 岩手県、青森県、秋田県、宮城県
- 公式HP： <https://www.tohoku-bank.co.jp>

取組み事例：子会社設立による再生可能エネルギー事業への参入

取組み概要

- ・当行は、令和6年2月にリニューアブル・ジャパン株式会社との共同出資により、「とうぎんリニューアブル・エナジー株式会社」を設立しました。当社は、再生可能エネルギー事業を営む他業銀行業高度化等会社（※1）となります。
 - ・地域経済の活性化および地域の脱炭素化に貢献する事を目的としています。今後は子会社の機能を最大限に発揮し、地域の再生可能エネルギー関連事業の支援を進めています。
 - ・岩手県内で2施設のFIT太陽光発電所を購入。
 - ・宮城県内で1施設のNon-FIT太陽光発電所を開発し、運転開始。
- ※1 銀行法第16条の2第1項第15号に規定された銀行の子会社です。

とうぎんリニューアブル・エナジー株式会社

<事業内容>


- ✓再生可能エネルギー発電所の開発・保有
- ✓地域の再エネ発電所への出資
- ✓環境コンサルティング
- ✓東北銀行グループの脱炭素化支援



 東北銀行

出資80%・融資



 リニューアブル・ジャパン

出資20%

東北銀行プレスリリース

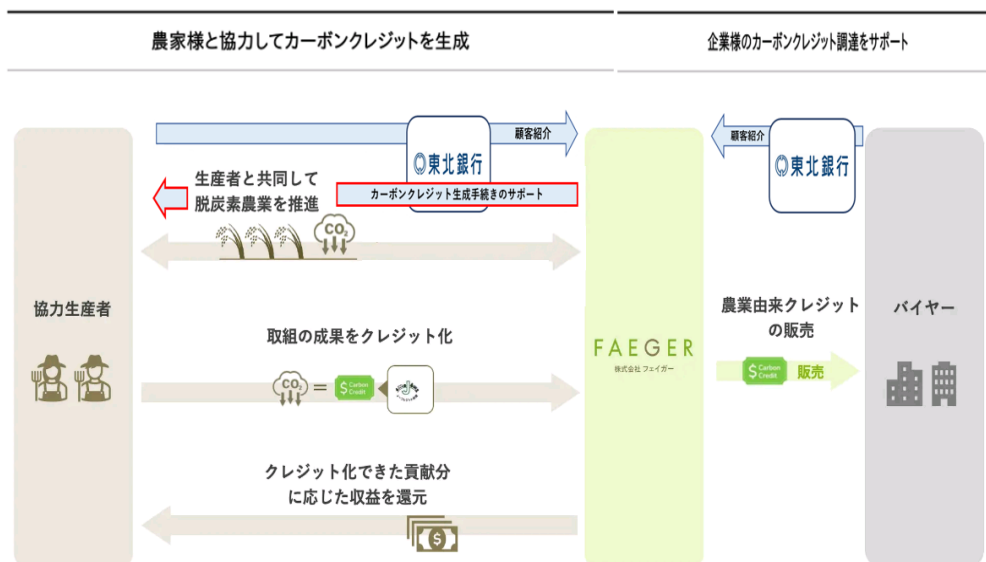
<https://www.tohoku-bank.co.jp/showimage/pdf?fileNo=1475>

取組み事例：水稻の中干期間延長によるクレジット創出・販売支援

取組み概要

- ・脱炭素農業の推進による「脱炭素化の推進」と、J-クレジット創出による「水稻農家の所得向上」を目的に、株式会社フェイガーと提携し「水稻の中干期間延長（※1）によるJ-クレジットの創出支援」を行っております。
- ・当行では生産者を株式会社フェイガーへ紹介するだけでなく、フェイガーと提携した生産者の申請作業サポートも行う支援体制を地方銀行として全国で初めて構築し、岩手県、宮城県、秋田県における生産者の支援に取り組みました。この取組により、2024年は当行がサポートする生産者（計94先）から、7,270 t-CO₂のJ-クレジットを創出しました。
- ・農業分野の脱炭素活動の地産地消を加速させるべく、フェイガーにより組成された「東北エリアにおけるカーボンクレジット地産地消推進協議体」へ参加しました（協議体参加第1号）。
- ・協議体参加とともに、当行が創出のサポートを実施した東北エリアで生成された地元産クレジットを購入し、当行自らが「カーボンクレジットの地産地消による地域農業支援」を体現しています。購入した地元産クレジットは、当行の自己活動におけるカーボンオフセットへの活用のほか、当行子会社であるとうぎんリニューアル・エナジー株式会社を通じて取引先への販売を行なっています。

<事業スキーム図>



※1 水稻の中干期間延長によるクレジット創出

水田から発生するメタンの量を減らすため、水稻栽培において通常行われる中干期間を延長しクレジットの創出を行う手法。

東北銀行プレスリリース

J-クレジットの創出申請支援

https://www.Tohoku-bank.co.jp/corporate/agri/aid/pdf/agri_aid_04.pdf

カーボンクレジット地産地消推進協議体への参加

https://www.tohoku-bank.co.jp/corporate/agri/aid/pdf/agri_aid_08.pdf